



らく、苦しんでいる方がいます。

誰でも発症する
可能性がります

「科学物質過敏症」

は、柔軟剤や合成洗剤、芳香剤、排気ガス、野焼きの煙、農薬、建築資材、防虫・殺虫剤、たばこなど、さまざまな製品に含まれる微量の化学物質に敏感に反応し、「頭痛」「めまい」「脱力感」など健康に及ぼす症状が現れる病気です。

その反応は個人差が大きく、また、大人になってから発症するなど、ある時を境に突然発症することもあり、誰でも発症する可能性がります。未解明な部分も多く、周りの方に理解してもらいづらく、苦しんでいる方がいます。

《主な症状》

- 目鼻のどの刺激症状・嗅覚異常
 - 脱力感・頭痛
 - めまい・吐き気
 - 下痢・腹痛・便秘
 - 息苦しさ・動悸・息切れ
 - 皮膚のかゆみ・湿疹・じんま疹
 - 不安・不眠・うつ症状など
- ※ 更年期障害や精神疾患の症状と似ている部分もあります

《発症のきっかけ》

- 新築やリフォーム
- 入園・入学
- 転勤や職場の配置転換
- 近隣の農薬散布
- 新しい電化製品や家具の購入

治療には周囲の理解と協力が不可欠

化学物質過敏症には、特別な治療法が確立していません。原因物質を突き止め、使用しないようにしたり、できるだけ接触しないようにすることです。しかし、本人の努力だけでは避けられないこともあり、周囲の方だけでなく、社会全体の理解と協力が重要です。



その『香り』に苦しんでいる人がいます

— 知っていますか？ 香害と化学物質過敏症 —

☎ 保健課 ☎ 43-9022

香りの強い柔軟剤や整髪料、芳香剤、消臭除菌スプレー、農薬など、日用品で体調が悪くなる人が増えています。「外出できない」「学校に行くことができない」など、通常の生活が送れず困っている人がいることに気づいてください。

「におい」に関する相談が増加

「香害」という言葉を聞いたことがありますか？

柔軟剤や合成洗剤、消臭抗菌成分を含む製品、化粧品、香水、芳香剤、整髪料、制汗剤など、毎日使用する日用品に含まれ、主に「合成香料（化学物質）」の香りによって、体調不良になるなど健康への影響が生じる健康被害のことを言います。

近年、香り付き製品が普及し、消費生活センターなどには、「におい」による相談が多数寄せられています。特に、柔軟剤の香りに関する相談が多くなっているのが現状です。

香りの感じ方には個人差があります。自分にとっては良い香りでも周りの人には不快に感じたり、アレルギーに似た症状を起こしたり、「化学物質過敏症」によって体調を崩すなど、苦しんでいる方がおられることを知ってください。

わたしたちができること

まずは、香害と化学物質過敏症について正しく理解し、苦しんでいる方の立場にたって考えましょう。自分にとって快適な香りでも、体調が悪くなる方がおられることを知ってください。

香りには順応性があり、普段から使い続けているとその香りに慣れてしまい、徐々に強い香りを求めてしまうことがあります。合成香料を含んだ製品を使用する際には、いつも同じ量ではなく、場合によっては量を減らしたり過度に使用することがないように、製品表

示にそって適量を守って使用しましょう。

《公共の場や人の集まる場》

香りが強い衣類、香水や消臭スプレー、整髪料などの香りの強い製品の使用は控え、周囲の方に配慮しましょう。

《農薬や除草剤を散布するとき》

・周囲に住宅や学校、通学路がある場合は、事前にお知らせし日程を調整しておきましょう。
・使用する農薬や時間帯、天候などに配慮しましょう。

・化学物質過敏症の方が住んでいることを把握している場合は、十分な配慮をお願いします。

《参考文献》

● 消費者庁ホームページ
その香りに困っている人もいます



● 環境省ホームページ
平成27年度「環境中の微量な化学物質による健康影響に関する調査研究業務」報告書



● 環境省ホームページ
農薬飛散による被害の発生を防ぐために



● 文部科学省ホームページ
健康的な学習環境を維持管理するために — 学校における化学物質による健康障害に関する参考資料 —

